

抗凝固剤・糖尿病治療薬( )は 月 日から中止して下さい。  
 入院当日(朝食・昼食)は売店で購入した検査食を摂取してください。

月日							
経過	前日	当日(治療前)	当日(治療後)	当日(治療後:鎮静剤使用した場合)	当日(鎮静剤使用 ポリープ取らず退院)	当日(ポリープ取らず退院する場合)	退院
注射・内服 処置	午後8時頃から下剤(水薬)を飲みます。 午後9時頃、下剤(錠剤)を飲みます。 	午前7時頃、吐き気止め(錠剤)を飲みます。 午前9時頃から下剤2ℓのうち1.5ℓを2時間以内で飲みます。排便状態不良の場合はさらに0.5ℓを飲みます。その後消化管内の泡を消す薬(50ml)を飲みます。  検査衣に着替え、午前中から点滴を行います。 (場合により、肩に鎮静剤を注射することがあります)	点滴は翌朝まで行います。	点滴は翌朝まで行います。 	点滴は検査後目が覚めるまで行ないます。	点滴は検査終了し病室に戻るまで行ないます。	いつも薬を飲んでいる方はいつも通り内服してください。 
検査・治療	午前13~14時頃までに、入院受付窓口にお越しください。いつも飲んでる薬がある方はお持ちください。 入院時、身長・体重・体温・血圧・脈拍・酸素飽和度の測定があります。	時 分頃に治療を行います。  7時、10時、治療前に体温・血圧・脈拍・酸素飽和度の測定があります。	治療後、体温・血圧・脈拍・酸素飽和度の測定があります。 	帰室時、帰室1時間後、帰室1時間半後(必要時)、帰室2時間後(必要時)、もしくは帰室1時間以降の覚醒時に体温・血圧・脈拍・酸素飽和度の測定があります。	左記、鎮静剤使用した場合と同様です。	検査後体温・血圧・脈拍・酸素飽和度の測定があります。	10時に、体温・血圧・脈拍・酸素飽和度の測定があります。
安静度	病院内の歩行は自由です。病棟から出るときは、看護師に声をかけてください。 (外出は、医師の許可が必要です)	病棟内の歩行は自由です。病棟から出るときは、看護師に声をかけてください。	→	覚醒し血圧や呼吸状態に問題がなければ帰室1時間後まで看護師が見守りのもと歩行できます。帰室1時間後以降は看護師がふらつきがないことを確認してから病棟内の歩行が自由になります。	左記、鎮静剤使用した場合と同様です。病棟内から出るときは、看護師に声をかけて下さい。	病棟内の歩行は自由です。病棟内から出るときは、看護師に声をかけて下さい。	病院内の歩行は自由です。病棟から出るときは、看護師に声をかけて下さい。
食事	検査食になります。 お茶とお水だけは飲んでも構いません。こまめに飲水するようにして下さい。	朝食・昼食は禁食です。 お水は飲んでも構いません。こまめに飲水するようにして下さい。	終了2時間後以降、お茶とお水だけは飲んでも構いません。こまめに飲水するようにして下さい。 夕食は禁食です。	覚醒していれば終了2時間後以降、お茶とお水だけは飲んでも構いません。こまめに飲水するようにして下さい。 夕食は禁食です。	検査1時間後以降に覚醒していれば飲水ができ、2時間後以降に覚醒したら食事ができます。(生検している場合も同様です。)	検査1時間後以降に飲水できません。(生検している場合は1時間後以降に飲水ができ、2時間後以降に食事ができます。)	全粥を食べます。
清潔・排泄	シャワーのご希望がある場合は看護師に声をかけてください。  病室のトイレをご利用ください						
説明	医師、看護師、薬剤師から説明があります。	下剤内服後、便にかすが混じらなくなったら、看護師にお知らせください。 必要時浣腸を追加することがあります。	便に血が混じっているような場合は看護師にお知らせください。	→	便に血が混じっているような場合は看護師にお知らせください。 医師、看護師から説明があります。		

社会福祉法人恩賜財団済生会 千葉県済生会習志野病院

特別な栄養管理の必要性 有 無  
 説明日 年 月 日

- \* 注1 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変われるものである。
- \* 注2 退院日はあくまでも予定日となっています。病状・検査・手術の経過及びご希望により短縮・延期することもありますのでご了承ください。
- \* 注3 入院医療費の算定方法については別紙にてご説明致します。

主治医  
 病棟師長  
 担当看護師  
 本人・家族